

家族会交流会を開催しました！

令和7年12月3日（水）にハートピアかごしまにおいて、第2回家族会交流会を開催しました。3団体8人の方にご参加いただきました。有難うございました。

今回は、
～霧島市・始良市で発生した水害の実体験談を聞き、我が家の災害対策を振り返る～

として、ご家族と訪問看護ステーションから体験談について、お話しいただきました。
そのあと、グループに分かれて、我が家の現状と今後の取り組みなどの意見を出し合いました。

【参加者からの主な意見】

- 平時に備えていてもやはり慌てる。一人で対応しないといけないときどうするか、ニュースが出た時点で早めに判断するのがよい。
- 避難する場合の手順、災害時の連絡先の一覧表を作成しておく。
- 食料・トイレ物品は3日が目安といわれるが7日分は準備が必要。
- 保存食は平時に食べて慣れておくことが大事。
- 災害時には情報の集約がないため、家族がどのように動くのか決めておくことが必要。
- 薬のストックは3日～1ヶ月はあると安心。
- 支援センターの動きを明確にしてほしい。

当センターでも、災害発生時に家族会などの皆様からいただいた、困りごとや支援に関する連絡体制を整えていきたいと考えておりますので、災害時における支援のあり方など、県担当課や各市町村の担当者等と検討を重ねていきたいと思います。

家族会交流会に参加のみなさん、貴重なご意見をありがとうございました。



鹿児島県医療的ケア児等支援センター
鹿児島市桜ヶ丘6丁目12 099-814-7418
kagoshima.ikeaji.sc@bird.ocn.ne.jp